

# 卷之三

岐阜県の移り変わりを調べようとする時、まず手に取るのは「岐阜県統計書」である。二〇〇五年（平成十七）年三月に刊行された「平成十六年岐阜県統計書」は四百四十八ページ。県の自然、人口、

「阜県治一覽」にまでさかのぼる。」の「県治一覽」は木版刷りB4判の一枚物で、管区も美濃国一円としており、この時点で飛驒は含まれていない。原本は国立国会図書館が一点所蔵するのみ

経済、社会、教育、文化など基本的な統計資料が幅広く収録されている。県勢の姿を客観的に把握することが出来る基本的な統計資料である。

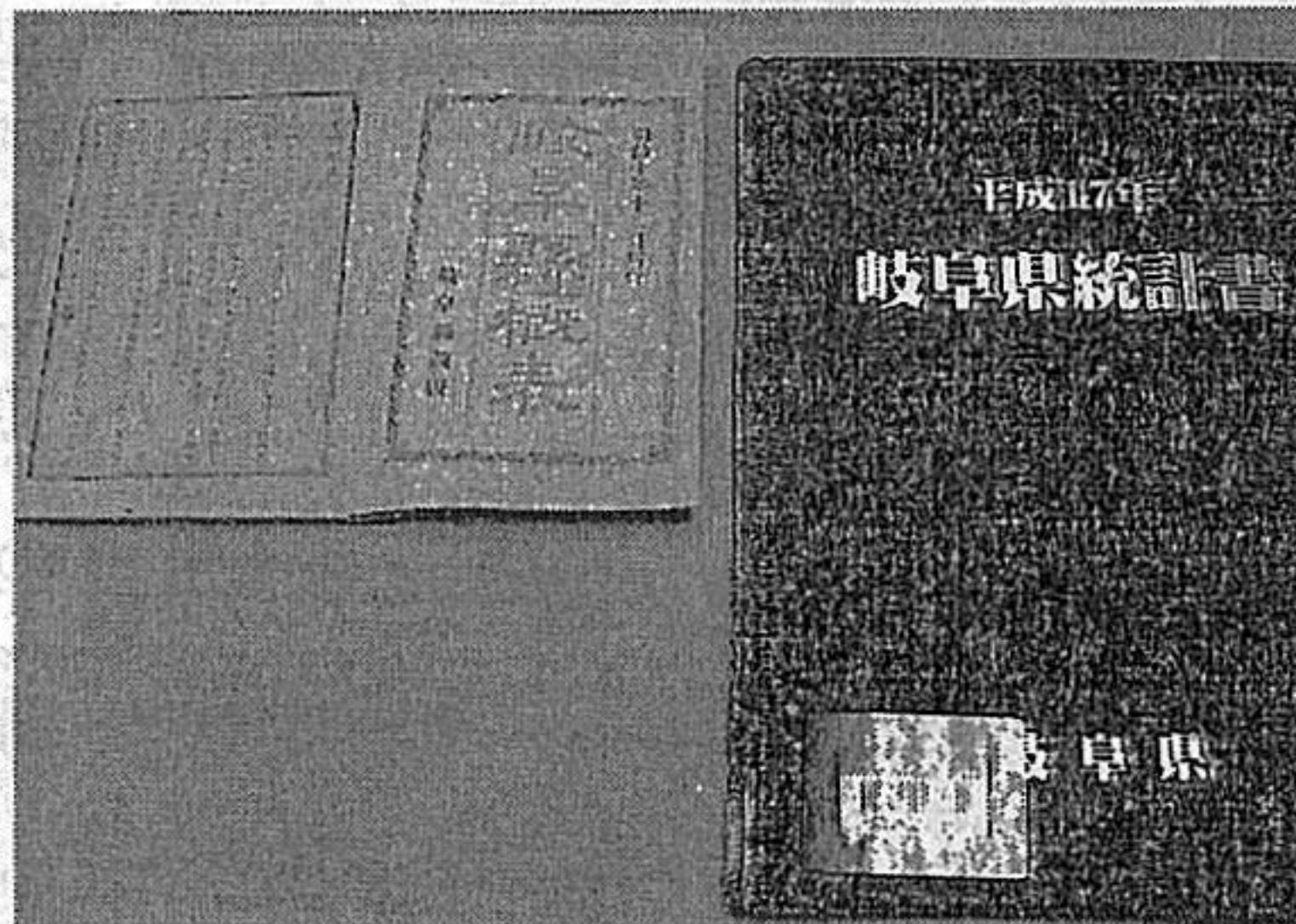
「岐阜県統計書」の歴史は古く、一八七三（明治六）年三月刊行の「岐

で、県図書館にはその複製が所蔵されている。

「県治一覽」は明治六、七、八年と三年分が刊行されているが、この後を受けて出版されたのが「岐阜県概表」。一八七六（明治九）年調査の統計書で「明治十年十二月

## 岐阜県統計書

# 数字から見る県の姿



明治10年12月刊行の「岐阜県概表」(左)と「平成17年岐阜県統計書」

みに人口は八十万七千二百四十五人となつている。當時は木版全盛の時代だが、この「県概表」今一回計五あまりを

所蔵しているのみである、そういう意味から大変貴重な統計資料である。以後、同十四、十五年のものは「岐阜県統計表」として刊行され、十六年からのものは「岐阜県統計書」として、日に至っている。

「県概表」はこの後も明治十、十一、十二年調査対象のものが出版されたが、県図書館には明治九年の最初の調査のもの細な記述がある。ちな  
農産・物産について詳  
たり、特に

は活版印刷である。この  
ころ岐阜県が出した布達  
類も活版で出されており、岐阜の町にもかなり  
早い時期から活版印刷を  
手がける活版所が存在して  
いたものと考えられ  
る。

## BOOK REVIEW